



TOSCO Co., Ltd

製品安全データシート

改訂日：2013年12月26日

1. 化学物質等及び会社情報

製品分類 : Irreversible Thermochromic Ink and Concentrate, water based
 製品番号 : TT203CW
 会社名 : 株式会社トスコ
 住所 : 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-5-5 大同ビル401
 電話番号 : 03-5295-6316
 緊急連絡先 : 03-5295-6316
 FAX番号 : 03-5295-6311

推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬。工業用原料。

2. 危険有害性の要約

本製品は、水生生物に対して毒性あり。長期の使用に関して水生環境に悪影響を及ぼす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

成分名、CAS番号および含有量 :

成分名	CAS No.	含有量 (w/w)
イソプロパノール	67-63-0	1 - 10%
尿素誘導体	社外秘	10 - 20%
複素環有機染料(黒色のみ)	社外秘	1 - 10%

4. 応急措置

飲み込んだ場合

- ・口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。

吸入した場合

- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・皮膚を多量の水で洗うこと。

眼に入った場合

- ・水で数分間注意深く洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

応急措置をする者の保護

- ・救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

- ・情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

燃焼ガスには一酸化炭素等が含まれる。

特有の消火方法

散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立入りを禁止する。
風上から作業する。

封じ込め及び浄化方法・機材

粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。漏出した場所は水で洗い流す。

二次災害の防止策

関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

[技術的対策]

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
よく換気された場所で使用する。

[安全取扱い注意事項]

皮膚、眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
本製品に接触したり、これの吸入、飲み込みをしてはならない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

[適切な保管条件]

風通しの良い冷暗所にて保管すること。
熱、着火源、直射日光を避けて保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

化学名	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	TWA	STEL(ACGIH)
イソプロパノール	0.1ppm	最大;400ppm	最大;980mg/m ³	200ppm 400ppm
尿素誘導体	—	—	—	—
複素環有機染料	—	—	—	—

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具： 防護服、安全靴又は安全ゴム長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態(形状) : 液体
pH : 5 - 7.5
沸点 : 100°C
密度 : 1.0 - 1.1
溶解度(水) : 可溶
VOC含有量 : ごく微量
VOC-水分 : 0
蒸気密度 : データなし
蒸発速度 : データなし
引火点 : データなし
爆発限界 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

製品は化学的に安定している。

危険有害反応可能性

データなし。

避けるべき条件

熱、直射日光に晒すこと。

混触危険物質

強酸化剤、強酸、強塩基。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。

11. 有害性情報

製品としての毒性データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

混合物としてデータなし。

残留性・分解性

混合物としてデータなし。

生態蓄積性

混合物としてデータなし。

土壤中の移動度

混合物としてデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN No. : 3082
Class : 9
Packing Group : III
Name and description : Environmentally Hazardous Substance, Liquid, N.O.S. (urea derivative)

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : イソプロピルアルコール(イソプロパノール)
名称等を表示すべき危険物及び有害物: 法第57条、政令第18条第2号の33
プロピルアルコール(イソプロパノール)
名称等を通知すべき危険物及び有害物: 政令第18条の2別表第9の494

16. その他の情報

HMIS表示

健康障害の危険 : 0 (通常)
火災の危険 : 0 (不燃)
反応性 : 0 (安定)

参考ウェブサイト

- 1) 経済産業省
- 2) (独)製品評価技術基盤機構

※ この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料・文献等に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅した訳ではありません。従いまして、取り扱いには十分ご注意ください。また、記載内容はあくまでも情報の提供であり、いかなる保証をなすものではありません。